

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73302	1	前期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	国際看護論 (Global Health Nursing)				
担当教員名	小黒 道子				
授業の概要及び到達目標					
<p>グローバルな視点に立ち、文化、社会経済、政治、教育などの現状を視野に入れ、生活や価値観へのより深い理解に立った看護のアプローチについて理解する。また、国際社会における健康問題、保健・医療システムなどを日本との共通点や相違点から理解を深める。特に発展途上国の医療・保健に影響を与えているさまざまな要因を把握し、社会科学、人間科学的な視点も踏まえた看護の役割について学習する。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の健康問題の背景を社会・経済・文化的側面から理解できる。 2. 国際看護に関わる理念および歴史的経緯を説明できる。 3. 国際看護活動と国際機関、国、ODA、NGO、住民の役割を理解できる。 4. 国際看護活動をジェンダーと開発のあり方から考察できる。 5. 自然災害時の緊急災害援助のあり方について長期的視野に立って考察できる。 6 戦争・紛争と難民・避難民の政治的・社会文化的背景をふまえて、看護職としての国際貢献のあり方を考察できる。 					
成績評価の方法	<p>評価は、レポート、授業への取り組み(発言、事前学習状況)を総合して行う。</p> <p>レポート 60%、授業への取り組み 40%</p>				
テキスト	指定しない				
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国際保健医療学会 編(2013). 国際保健医療学第3版、杏林書院. ・UNICEF (2017) /日本ユニセフ協会(2017). 世界子供白書 2017〈要約版〉デジタル世界の子どもたち、日本ユニセフ協会. ・UNFPA(2017). 阿藤誠日本語版監修. 世界人口白書 2017 分断される世界—格差拡大時代のリプロダクティブ・ヘルス/ライツ、日本語版制作：公益財団法人 ジョイセフ. ・国際協力機構・国際協力総合研修所 (2004). 日本の保健医療の経験 - 途上国の保健医療改善を考える -、独立行政法人国際協力機構 国際協力総合研修所 調査研究グループ. 第1部 日本の保健医療の概観. ・柳沢理子編著 (2017). 改訂版 国際看護学 看護の統合と実践 開発途上国への看護実践を踏まえて、ピラールプレス. 				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・前提科目はなし。 ・視野を広くもって看護を考えたい方、そして、途上国の人々の健康支援にあまり関心がない方の履修も歓迎です。現在、日本の医療施設では外国人など価値観の異なる対象を看護する場面や、海外から来た看護職と働く機会があります。文化が異なる対象者や同僚への理解を深めるためにも本講義は役立つでしょう。また、日本もかつては途上国でした。自国の保健医療の近代史を知ることは、現代の国内外の健康課題を考えるヒントになります。 ・オフィスアワー：講義終了後1時間程度または、講義前30分程度。 ・必要な情報や資料は適宜デスクネットにアップするので、履修中はデスクネットのインフォメーションや新着回覧の表示を随時確認すること。 			
授 業 計 画				
<p><授業の進め方></p> <p>講義、グループワーク、演習、講義中のディスカッションで学びを深める。</p> <p><授業内容></p>				
回数	内容	方法	担当	予習
1	科目ガイダンス		小黒	
2	国際看護の理念、関連する概念や動向、関連する機関を知る	課題発表とディスカッション	小黒	国際看護に関連する概念の意味、保健医療に関連した国際機関の名称・役割について情報を得ておく。
3	開発途上国の健康問題を考える ①：ミャンマーでの活動	講義	小黒	ミャンマーについて情報を得ておく。
4	開発途上国の健康問題を考える ②：演習「関心のある国の健康課題を考える」	グループワーク	小黒	どの国の健康課題を知りたいか、考えておく。
5	開発途上国の健康問題を考える ③：演習「関心のある国の健康課題を考える」	グループワーク	小黒	
6	発表	発表とディスカッション	小黒	発表資料に目を通し、質問を準備する。
7	内なる国際化：日本における国際看護を考える	講義	五十嵐 ゆかり	在日外国人の健康課題を情報収集しておく。
8	・日本の保健医療の経験から途上国の保健医療の改善を考える ・まとめ	講義	小黒	<ul style="list-style-type: none"> ・明治・大正・昭和(1868~1989年)にかけての日本の保健医療に関する情報を新聞や参考図書から得ておく。 ・8回の授業を経て自分の中で変化した考えや思いがあるか考察しておく。